

生野区将来ビジョン2026

— ベース案 —

生野区役所

目 次

【はじめに】	1
・ 将来ビジョンとは	2
【今の生野区のまちの特徴】	3
・ まちの沿革	4
・ グローバルなまち	5
・ ものづくりのまち	6
・ 住民同士の助け合いがあるまち	7
【生野区のまちをとりまく情勢】	8
・ 人口増減（自然・社会増減）推移	9
・ 少子高齢化・人口減少推移	10
・ 人口減少・超高齢社会の影響	14
【生野区のめざすまちの姿】	15
【めざすまちに向けた基本理念 — 「異和共生」 —】	17
【めざすまちに向けたキーワード — 「公民地域連携」 —】	19
・ 公民地域連携の4つのステージ	21
【めざすまちに向けたアプローチ — 誰もが「居場所と持ち場」のあるまちへ —】	24

目次

【めざすまちに向けた施策の方向性】	26
安全・安心を身近に感じて暮らせるまち	27
・ 1 - 1 災害に備えて	28
・ 1 - 2 犯罪・事故の防止に向けて	30
・ 1 - 3 ずっと安心して暮らせる環境づくり	33
・ 1 - 4 ひとりも取りこぼさない支援を	36
・ 1 - 5 すべての人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり	38
にぎわいといろどり豊かな魅力あるまち	41
・ 2 - 1 リノベーション×まちづくり	42
・ 2 - 2 生野シティプロモーション	45
子育てにやさしく教育につよいまち	48
・ 3 - 1 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	49
・ 3 - 2 未来を生き抜く力の育成	51
(参考) SDGs 持続可能な開発目標とは	54

はじめに

将来ビジョンとは

区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で
区のめざすべき将来像やその実現に向けた施策展開の方向性等をとりまとめ
区民の方々に明らかにするもの

計画期間は2023～2026年度までの4年間を予定

※現行の将来ビジョンは2017度末に策定（2018～2022年度まで）

※区の運営方針は、将来ビジョンで示された施策展開の方向性に沿って
年度ごとの施策・事業の取組を明らかにする単年度ごとのアクションプラン
をさす

今の生野区のまちの特徴

まちの沿革

生野区は大阪市の東南部に位置し、東は東大阪市に、北は近畿日本鉄道を区界に東成区に、西はJR環状線を区界に天王寺区に、南は国道25号線および平野川を区界に阿倍野区、東住吉区、平野区にそれぞれ接しています。面積は8.38平方kmあり、区の南北に今里筋と内環状線、東西に勝山通が通っています。



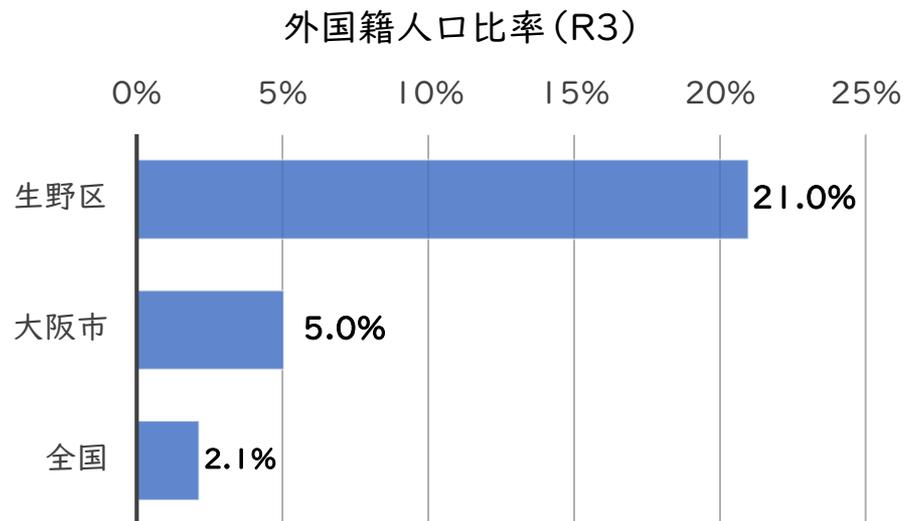
万葉の時代からの歴史や伝承が残されている土地で、区名の「生野」は、聖徳太子ゆかりの「生野長者」にちなんで付けられています。

区役所東側には、定かではないものの大小橋命（おおおばせのみこと）の廟所（びょうしょ）とも伝承される御勝山古墳があり、慶長19年の大坂冬の陣では、ここに徳川秀忠が布陣し、夏の陣で勝利したため、当時の地名「岡山」を「御勝山」と称するようになったといわれています。

だんじり・地蔵盆など地域伝統行事が大切に守られるなど、下町の良さを残した人情味豊かなまちです。

グローバルなまち

- ・住民の5人に1人は外国籍 その国籍は約60にのぼる
外国人人口の割合 都市部 No1 (2020年国勢調査)
- ・8割近くが韓国・朝鮮籍
日本最大規模のコリアタウンは年間200万人の来場
- ・近年はベトナム、ネパール、インドネシアなどの留学生や技能実習生が増加



ものづくりのまち

- ・製造業が多く、オンリーワンの高い技術力を有する事業者も
製造業事業者数 市内24区中1位 1,962(従業員数約1万4千人)
伝統工芸品から最新技術まで、ものづくり日本の発展を支えてきた
- ・卸売・小売業も多い



産業分類	H24年(2012)	H28年(2016)	シェア
	売上金額(百万円)	売上金額(百万円)	
製造業	231,696	400,242	53.0%
卸売業, 小売業	73,019	196,138	26.0%
医療, 福祉	21,007	59,068	7.8%
建設業	9,042	41,110	5.4%
生活関連サービス業, 娯楽業	5,964	16,078	2.1%
トップ5合計	340,728	712,636	94.4%
全産業合計	357,703	754,814	

(工業統計調査・経済センサスより)

住民同士の助け合いがあるまち

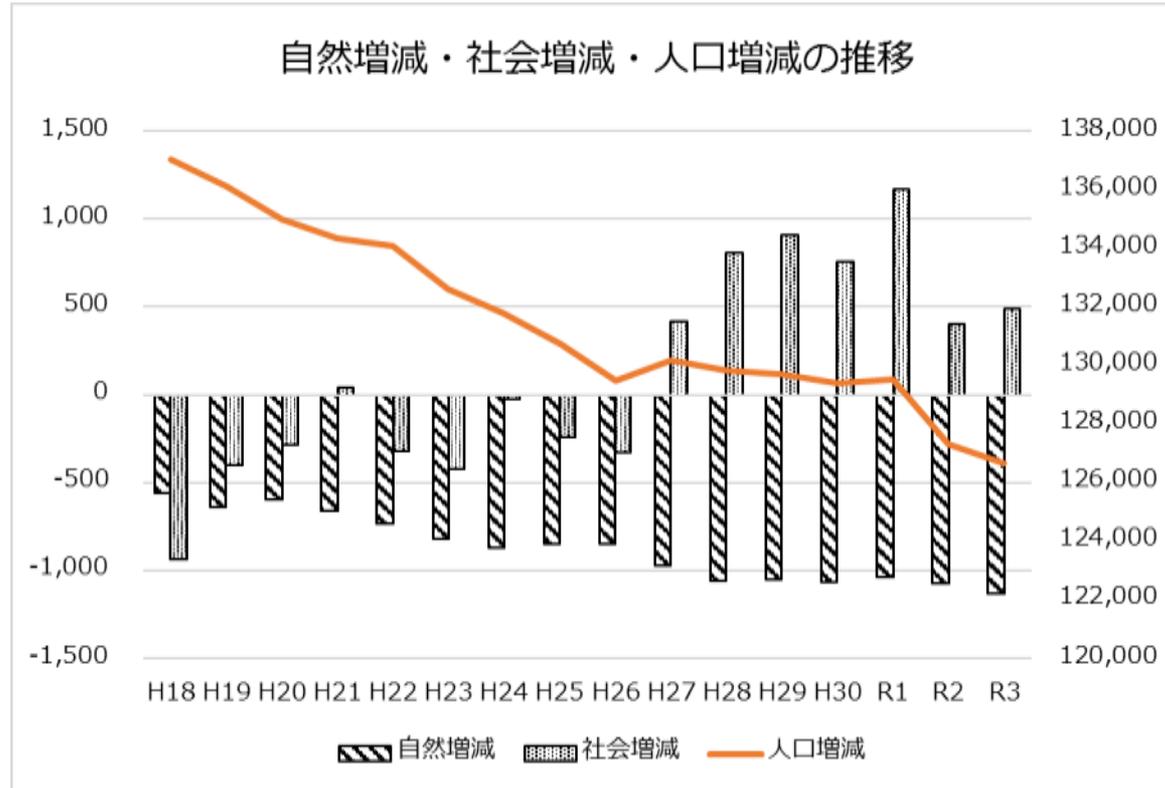
地域団体による活動やボランティアグループによる活動が活発
NPOの登録数も50を超える



生野区のまちをとりまく情勢

人口増減（自然・社会増減）推移

- ・長期的に自然増減の減少が増加し続けている一方、社会増減はH27以降増加傾向に転じている
- ・ただし、社会増加に比べ自然減少が多いため人口は減少傾向が続いている



（大阪市推計人口より）

少子高齢化・人口減少推移①

- ・1960年をピークとして一貫して減少傾向が続く見込み(～2045年)
- ・2015年と比較して以降30年間の増減率は-24.1% 24区中5番目の減少率

《生野区の人口の推移》

「大阪市人口ビジョン」より抜粋



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総人口(人)	130,167	129,619	124,071	117,750	111,342	105,100	98,806
総人口指数 (2015年=100)	100.0	99.6	95.3	90.5	85.5	80.7	75.9
男性(人)	62,670	62,213	59,710	56,886	54,039	51,258	48,431
女性(人)	67,497	67,406	64,361	60,864	57,303	53,842	50,375
年少人口(人)	12,053	11,317	10,222	9,399	8,605	7,898	7,108
(構成比: %)	9.3	8.7	8.2	8.0	7.7	7.5	7.2
生産年齢人口(人)	77,244	76,584	72,940	68,166	62,284	55,945	51,246
(構成比: %)	59.3	59.1	58.8	57.9	55.9	53.2	51.9
高齢者人口(人)	40,869	41,719	40,909	40,185	40,454	41,257	40,452
(構成比: %)	31.4	32.2	33.0	34.1	36.3	39.3	40.9

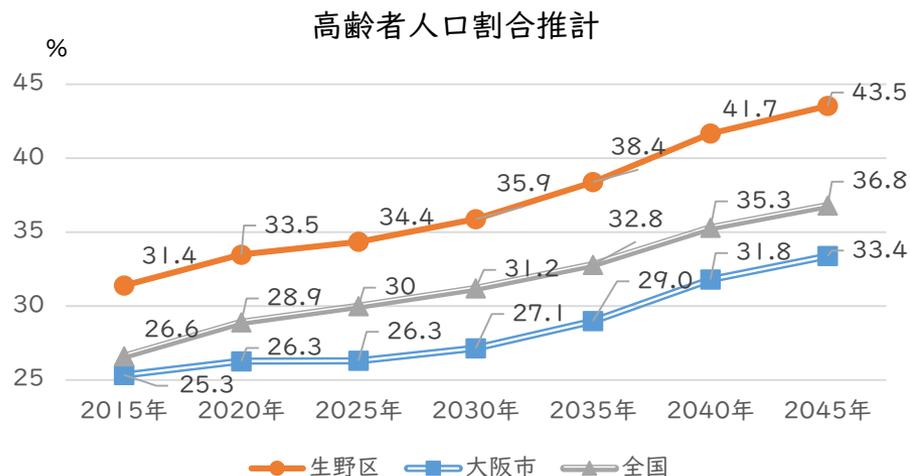
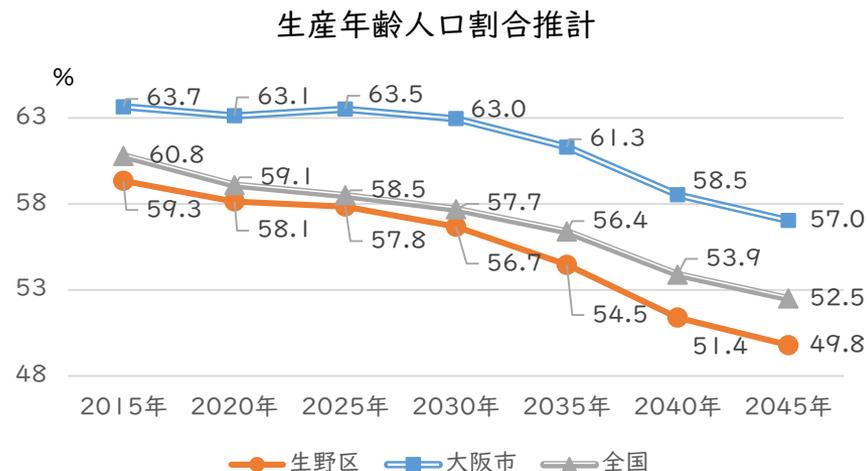
《生野区の将来推計人口の概要》



《生野区 年齢3区分別の構成比の推移(2015⇒2045)》

少子高齢化・人口減少推移②

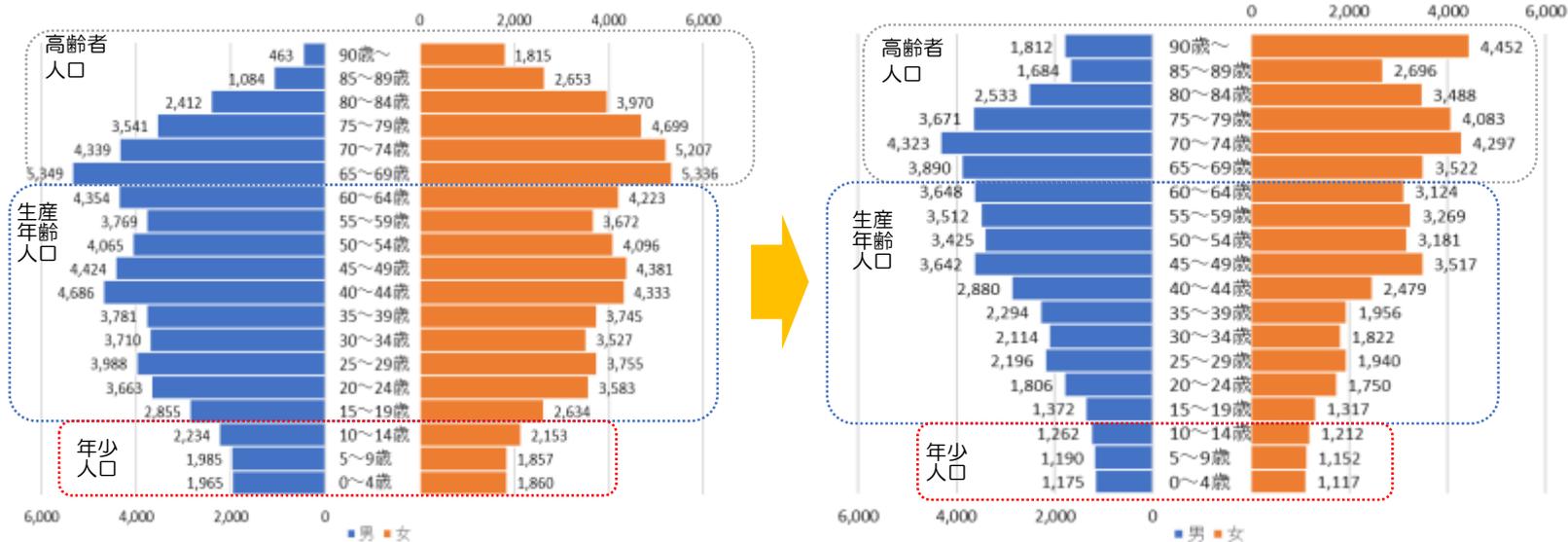
- ・年少人口(0~14歳)・生産年齢人口(15~64歳)とも区民の構成割合は全国・大阪市平均より低い
- ・高齢者人口(65歳以上)の区民の構成割合は全国・大阪市平均より高い



少子高齢化・人口減少推移③

- ・年少人口および生産年齢人口の割合が非常に低い一方で高齢者人口が多くその割合も24区中2番目に高い
- ・2045年時点の推計では男女とも0～4歳から70歳代前半までの各階級で減少
10歳代後半から40歳代前半、60歳代後半は男女とも減少が著しい

「大阪市人口ビジョン」より抜粋



《生野区 2015年人口ピラミッド》

《生野区 2045年人口ピラミッド》

少子高齢化・人口減少推移④

2045年時点の推計では

区民の年少人口の割合はかなり低く 7.2% 24区中23番目
 同じく生産年齢人口の割合も 51.9% 24区中21番目
 一方で高齢者人口の割合は高く 40.9% 24区中3番目

「大阪市人口ビジョン」より抜粋

★2045年時点の大阪市全体における生野区の状況

()内は2015年

総人口			
98,806 人 ※市全体の 4.0%	年少人口 7,108 人	生産年齢人口 51,246 人	高齢者人口 40,452 人
12 番目 (6) / 24 区	19 番目 (12) / 24 区	16 番目 (7) / 24 区	6 番目 (6) / 24 区
2015⇒2045 増減率 -24.1%	全区民のうち 15歳未満の割合 7.2%	全区民のうち 15～64歳の割合 51.9%	全区民のうち 65歳以上の割合 40.9%
20 番目 / 24 区	23 番目 (20) / 24 区	21 番目 (22) / 24 区	3 番目 (2) / 24 区
■2045年の大阪市総人口：2,497,668人			
増減率：-7.2%	15歳未満：9.7%	15～64歳：57.9%	65歳以上：32.4%

人口減少・超高齢社会の影響

人口減少、高齢化の進展による具体的な影響が
「経済」「市民生活、医療・福祉」「まちづくり」の各分野で
次のように想定される

「大阪市人口ビジョン」より抜粋

経済	市民生活、医療・福祉	まちづくり
<ul style="list-style-type: none">・消費市場の規模縮小・働き手の減少・高度な専門的人材、 技術的人材の不足・地域経済の弱体化・高齢者向け市場の拡大 など	<ul style="list-style-type: none">・高齢単独世帯の増加・交通弱者、買物弱者、 災害弱者の増加・医療・介護需要の増大・社会保障費の増大・現役世代の負担増・地域コミュニティの 弱体化 など	<ul style="list-style-type: none">・利用者の減少や高齢化 などインフラ・住宅需要 の変化・空き家・遊休地の増加 など

生野区のめざすまちの姿

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち

にぎわいといろどり豊かな魅力あるまち

子育てにやさしく教育につよいまち

めざすまちに向けた基本理念
-「異和共生」-

異 なったままで

和 やかに

- ・あえて壁を残したまま、お互いに壁の外へ半歩でも踏み出して、壁と壁の間で一緒にできることを少しずつ増やしていこうという考え方

共 に

- ・互いの壁を支える文化や歴史を尊重し大切にすることが前提

生 きる

- ・人権尊重はもとよりダイバーシティの推進として多文化共生や多世代交流など様々な分野に通じる

と　い　う　考　え　方

めざすまちに向けたキーワード
-「公民地域連携」-